

令和元年度科学の甲子園岩手県大会（10/19） 実技競技①で2位、総合3位入賞！



10月19日に令和元年度科学の甲子園岩手県大会が花巻市にある岩手県立総合教育センターで行われました。本校からは2学年の普通科1名、理数科7名による選抜チームで臨みました。本校をはじめ6校の参加があり、筆記競技、実技競技①、実技競技②で、チーム内で協力しながらお互いの科学力を競い合いました。結果は、総合成績で本校の最高位タイ記録の3位でした。

筆記競技は、60分の競技の中で話し合いや座席移動、電卓の使用も認められていますが、問題量が多いためそれぞれ問題を生徒8名で分担し解答しました。

実技競技①は、ターゲットマーカーと探査機を作成し、ターゲットマーカーが接地した時間と位置の測定と、探査機が接地した時間と位置の測定から、ターゲットマーカーと探査機の「落下時間の得点」と「正確性の得点」の2点で順位を競う競技です。この競技は、事前に競技内容が公開されていたので、放課後にターゲットマーカーと探査機の試作機を様々作り、最適な形を求めて試行錯誤していました。当日は生徒4名で担当し、会場に用意された材料で作成後、コンテストを行いました。本校は精度が高く、「落下時間の得点」「正確性の得点」の総合点で2位でした。

実技競技②は、実技競技①に参加していない生徒4名で担当し、バネを利用して、ものを測定する実験で競いました。

また、岩手生物工学研究センターの阿部陽主任研究員の「ゲノム解析と育種への利用」の講演もありました。ゲノム解析の歴史や方法のほか、岩手発 MutMap 法という画期的な遺伝子同定技術の開発で学術誌に掲載されたことや「金色の風」の開発についての秘話など、生物選択者以外にも興味深い内容でした。

